

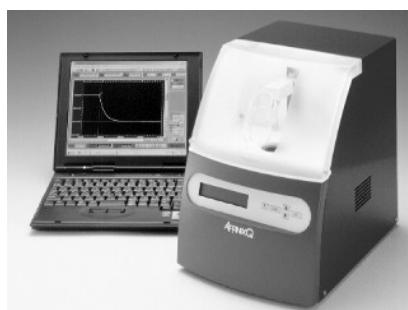
11月23日（第1日）D会場 12:00~12:55

QCM バイオセンサー 生体分子間相互作用の解析

水晶発振子マイクロバランス（QCM：Quartz Crystal Microbalance）法は、タンパク質－タンパク質間、タンパク質－DNA間、タンパク質－低分子基質間、タンパク質－糖鎖間などの生体分子間相互作用の検出装置として、結合の絶対量と経時変化を同時にナノグラムレベルで追跡できることより、近年注目されています。

本セミナーでは、QCM バイオセンサー AFFINIX Q シリーズを用いた生体分子間相互作用の解析例をご紹介します。

AFFINIX Q



AFFINIX Q4



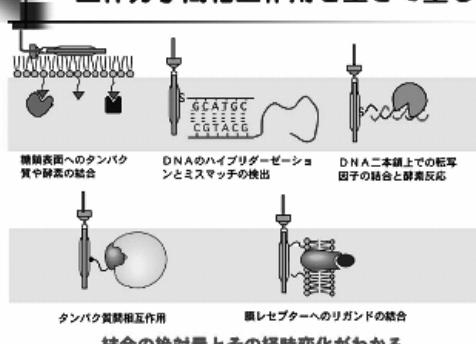
分子認識や生体反応を重さで測る

東京工業大学・生命理工学研究科
フロンティア創造共同研究センター
岡畑 恵雄 教授

亜鉛(II)錯体-DNA 相互作用の測定

東京理科大学・薬学部
青木 伸 教授

生体分子間相互作用を重さで量る



41

営業本部 〒104-0028 東京都中央区八重洲 2-3-1

TEL : 03-5218-8030 FAX : 03-5218-8031

E-MAIL: info@initium2000.com

<http://www.initium2000.com>

initium